



# 移動コンピューター

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。  
この取扱施工説明書は、別紙「コンピューター設定説明書」とあわせてご使用ください。

このたびは、移動コンピューターをお買い求めいただきまして、  
まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

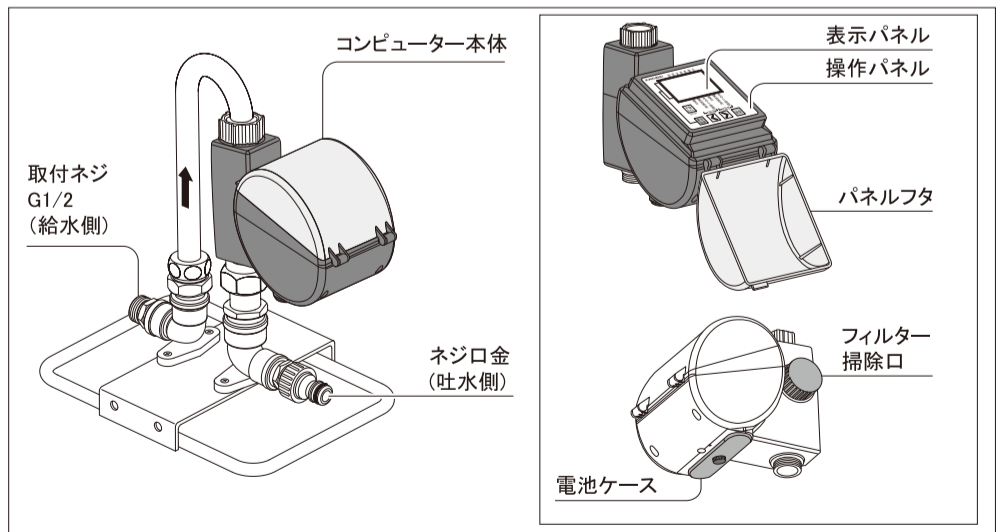
- 必ず実行** 必ず実行していただく「強制」を示します。
- 禁止** してはいけない「禁止」を示します。
- 注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。
- 分解禁止** 「分解禁止」を示します。

### 使用上のご注意

- 必ず実行**
  - 必ず取外しのできる配管に取付けてください。
  - 施工の際は、安定した場所に確実に設置してください。設置が不完全だと、倒れて破損する恐れがあります。
  - 冬期には凍結破損の恐れがあるため、取外してください。
  - 本品を使用しない時は、給水元の水栓ハンドルまたは元栓を閉めてください。
  - 電池は必ず1.5V単3形アルカリ乾電池をご使用ください。(マンガン電池などの使用、および異種電池の混用はしないでください)
- 禁止**
  - この機器は屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。
  - ビニールハウスなどの高温になりやすい環境下には設置しないでください。温度上昇により本品内部の基盤の動作不良、電池の液もれの原因となります。
  - 土中(散水栓ボックスなど)、風通しの悪い場所には設置しないでください。湿気により本品内部の基盤の動作不良の原因となります。
  - 横・逆向きに設置しないでください。本品内部に雨水などが侵入して基盤の動作不良の原因となります。
  - 通水方向を逆向きに取付けしないでください。
  - 本体部に衝撃を与えないでください。破損の恐れがあります。
  - 本品にものをのせたり、過度の荷重をかけたりしないでください。破損の恐れがあります。
  - お手入れの際、クレンザーなどの目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油などは使用しないでください。表面を傷めたり、破損の原因となります。
- 注意**
  - ノイズの発生原因となるポンプなどの動力機器、またはそれに接続される動力線付近に設置するとノイズで誤動作する場合があります。設置場所には十分ご注意ください。
  - 夏期は製品本体の温度上昇によりパネル表示が見えなくなることがありますが、品質上問題ありません。温度が下がればパネル表示は元に戻ります。
  - 植物を傷める恐れがありますので日差しが強いときには水やりを避け、早朝か夕方に行ってください。
  - 長期間使用しないときは必ず電池を取外してください。電池の液もれの原因となります。
  - 定期的に電池の交換を行ってください。電池切れのまま放置すると電池の液もれの原因となります。
- 分解禁止**
  - 分解・改造はしないでください。(アダプターを使つてのAC100Vとの結線など)

### 製品同梱明細・各部のなまえ

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



\*上記部材に加え、  
●取扱施工説明書 ●コンピューター設定説明書 ●保証書 ●M4ビス(雨センサー取付時に使用)を同梱しています。  
\*別途、1.5V単3形アルカリ乾電池(4個)をお買い求めください。

### 流量表

水圧 (MPa)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
流量 (L/分)	11.6	16.8	21.1	23.9	26.7

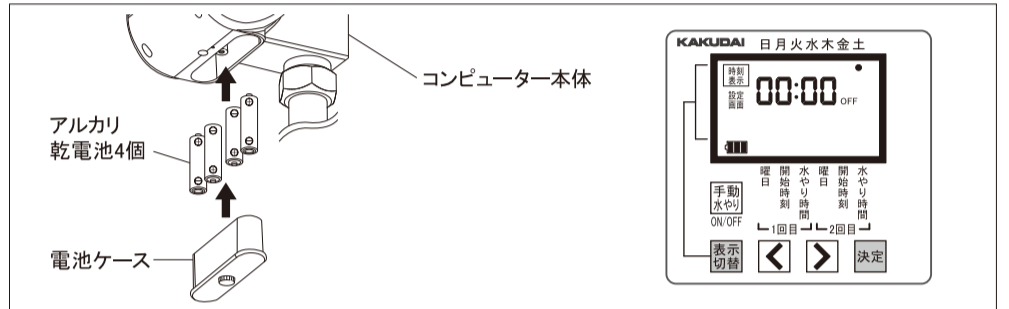
### 仕様

水やり日の間隔	曜日単位で設定可能
水やり回数(日)	2回まで
水やり開始時間	00:00 ~ 23:59(1分単位で設定可能) 手動:随時実行可能
水やり作動時間	自動水やり・手動水やりともに 1~30分(1分単位)、30~90分(10分単位)、2~9時間(1時間単位)で設定可能 *手動水やりの水やり作動時間の初期設定は30分
使用流体	上水道水
使用温度	1~40℃
使用水圧	0.1~0.5MPa
使用電源	1.5V単3形アルカリ乾電池4個
設置場所	屋外
大きさ	高さ269ミリ×幅170ミリ×奥行270ミリ
質量	約2.2kg *電池を含む

### 取付方法

**必ず実行** 故障の原因となりますので、取付けの前に数秒間水を流し配管内のゴミなどを洗い流してから、水栓または配管の元栓を閉めて取付作業を行ってください。

#### 1.電池を入れます。



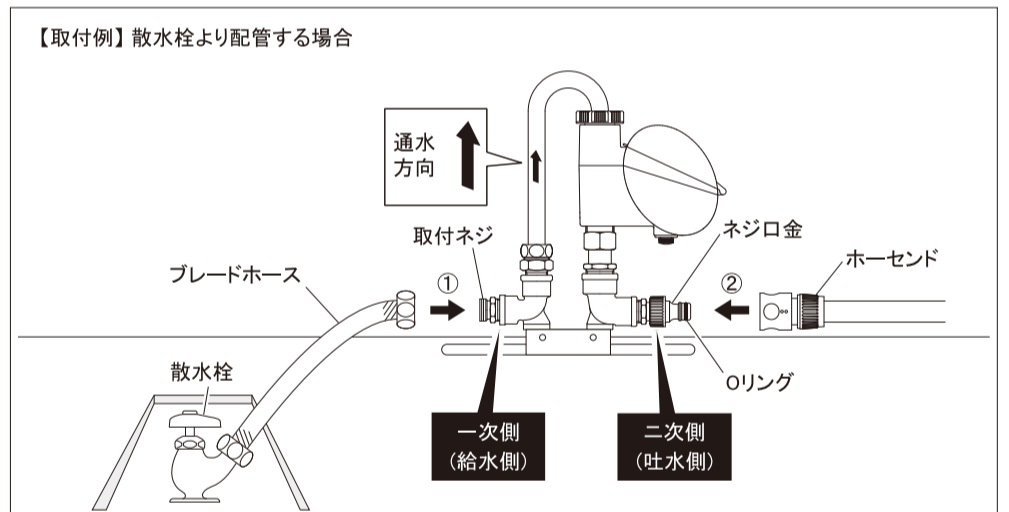
①灌水コンピューター本体底部にある電池ケースを外し、電池ケースにアルカリ乾電池4個を入れます。

**注意**

- 電池を取付ける際は、極性(⊕/⊖の向き)を間違えないように取付けてください。
- 新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 使用推奨期限内の新しい電池をご使用ください。

②電池ケースを閉め、表示パネルが上図のようになるかを確認します。  
\*長時間放置せずに電池を交換した場合には、設定した現在時刻が表示されます。

#### 2.配管に取付けます。



①ブレードホース(別売)などで、給水栓と本品の一次側(給水側)の取付ネジを接続します。

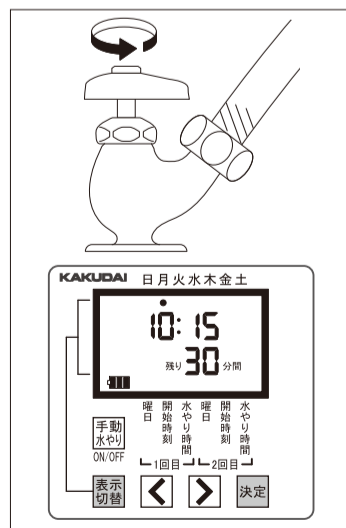
\*ブレードホースのナット部は、工具などでしっかり締付けてください。

②二次側(吐水側)のネジロ金と、ホーセンド(別売)を接続します。

\*Oリング部に砂などが付かないようご注意ください。

**注意** 通水方向を逆向きに取付けると、止水不良や漏水事故につながる恐れがあります。ご注意ください。

#### 3.取付後の点検を行います。(水もれの確認、流量の調節)



①給水栓のハンドルを開きます。**表示切替** ボタンを押して **時刻表示** を選択し、**手動水やり** ボタンを押して水を出します。水が出たら接続部分に水もれがないか確認し、水栓のハンドルで流量を調節します。(表示パネルは左図のようになります)

②調節が終わったら、操作パネルの **手動水やり** を再度押して水を止めます。  
\*他の器具と同時に使用すると、十分な流量が得られない場合がありますのでご注意ください。

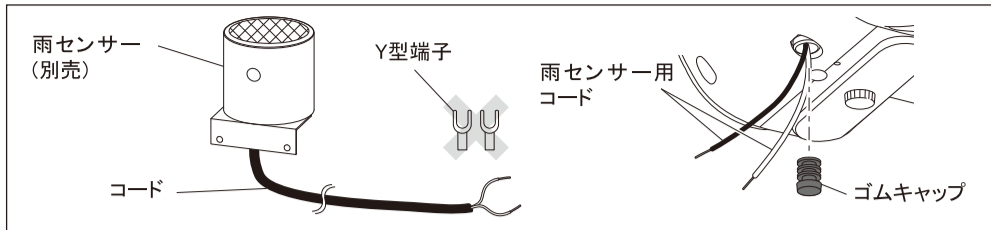
**必ず実行** 水もれが発見された場合は、ハンドルまたは元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。

#### 4.水やりの設定を行います。

別紙「コンピューター設定説明書」を参照し、水やりの設定を行います。

# 雨センサー(501-401:別売)取付方法

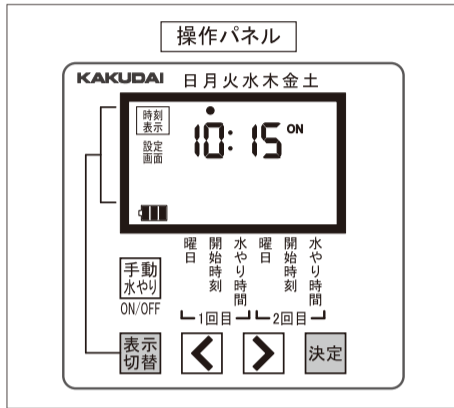
\* 501-401に付属の説明書もあわせてご参照ください。



- ① 本体下部のゴムキャップを取外し、雨センサー用コードを取出します。  
\* 取外したゴムキャップは、なくさないように保管しておいてください。
- ② 取出したコードの先端の被覆を取除きます。
- ③ 雨センサー(別売)本体のコードのY型端子を切落とし、先端の被覆を取除きます。
- ④ 雨センサー用コードと雨センサー(別売)本体のコードを接続し、絶縁テープなどを巻いて保護します。  
\* 雨センサー用コードには極性(⊕⊖の向き)がありませんので、雨センサー本体のどちらのコードに接続しても作動します。

## 凍結による破損を防止するには…

**必ず実行** 冬期には凍結破損を防止するため、以下の手順で配管から本品を取外してください。



### 取外しかた

- ① 水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
- ② 操作パネルの「手動水やり」を押し、本体内の水を抜きます。
- ③ コンピューター本体に接続している配管を取外します。

### 保管方法

- ① コンピューター本体底部にある電池ケースから電池を取出します。
- ② コンピューター本体を軽くふり、中の水分を抜いてから陰干しして乾燥させます。
- ③ 直射日光の当たらない、屋内の高温・湿気を避けた場所に保管します。

## 電池の交換方法

\* 「取付方法」「1.電池を入れます。」を参考に交換してください。

## お手入れのしかた

本品の性能を維持するため、以下の手順で灌水コンピューター本体、ストレーナーパックンおよびフィルターのお手入れを定期的に行ってください。

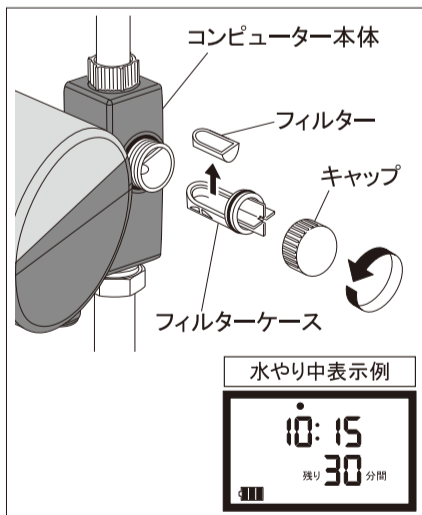
### コンピューター本体のお手入れ

乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

**注意** 金属たわし、クレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油などは、金属部・樹脂部・塗装面を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

### フィルターのお手入れ

流量が少なくなった時は、ストレーナーパックンおよびフィルターが目詰まりしていることがあります。以下の手順でこまめにお手入れをしてください。



- ① 水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
- ② 操作パネルの「手動水やり」を押し、本体内の水を抜きます。  
\* 本体内に水が残っていると、水圧でキャップが外せなくなりますので必ず本体内の水を抜いてください。
- ③ フィルター掃除口のキャップを外し、コンピューター本体からフィルターケースを「ラジオペンチ」などで取出します。
- ④ フィルターケースからフィルターを取出し、水洗いしてゴミを取除きます。
- ⑤ コンピューター本体にフィルターケースとキャップを元のように取付け、水栓または元栓を開きます。  
\* 表示パネルが左図のような水やり中表示になっている場合は、「手動水やり」を押し水やりを終了してから、水栓または元栓を開いてください。  
\* キャップの取付けが不完全ですと、水もれを起こす可能性がありますので、キャップは確実に取付けてください。

## こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に動かない時は、次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
表示パネル(液晶画面)が表示されない	●電池が消耗している	●新しいアルカリ乾電池4個と交換する
	●電池が正しく取付けられていない	●電池の極性(⊕⊖の向き)を確認し、正しく取付ける
設定した時刻になっても水やりしない	●水栓のハンドルまたは元栓が閉まっている	●水栓のハンドルまたは元栓を開く
	●電池が消耗している	●新しいアルカリ乾電池4個と交換する
	●水やり設定ON/OFFが“OFF”になっている	●水やり設定ON/OFFを“ON”に設定する
	●水やり設定が完了していない	●自動水やり設定画面で点滅している項目を設定する
水栓または配管との接続部分から漏水	●水栓のハンドルまたは元栓が十分に開いていない	●水栓のハンドルまたは元栓を開き、流量を調節する
	●ホースなどが折れている	●折れないようにホースなどを設置する
水やり時の水量が少ない	●ゴミが詰まっている	●本体内のフィルターや、二次側に接続している器具(スプリンクラー、ノズルなど)に詰まっているゴミを取除く
	●水道の水圧が低い	●二次側に接続している器具(スプリンクラー、ノズルなど)の数量を減らす、設置位置を変える
	●二次側に接続している器具が多すぎる	
水栓または配管との接続部分から漏水	●水栓または配管に正しく取付けられていない	●「取付方法」を参考に取付作業をやり直す

\* 以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

日本製



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

1220\*\*

M-I0157D

無断転載・複写を禁ず